

- 問1 14世紀後半、明が民間人の海外渡航や私的な貿易を厳格に制限した「海禁」と呼ばれる政策をとった主な目的として、最も適切なものはどれか。
(2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 鉄砲やキリスト教などの新技術が流入するのを防ぐため | 2. キリスト教の布教を制限して幕府の権威を守るため | 3. オランダや清以外の船舶の来航を完全に禁止するため | 4. 倭寇の活動を鎮圧して国内の安定を図るため |
|------------------------------|----------------------------|-----------------------------|-------------------------|
- 問2 室町時代、近畿地方を中心に農民たちが自衛や用水の管理などを目的として結成した、自治的な村組織を何と呼びますか。
(2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|------|--------|
| 1. 問丸 | 2. 惣村 | 3. 座 | 4. 株仲間 |
|-------|-------|------|--------|
- 問3 足利義満が明との貿易を推進したことにより、当時の日本国内の経済に与えた影響について述べたものとして、最も適切な説明はどれか。
(2018年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 日本から銀が大量に流出したこと
で、国内の物価が下落し、自給自足の
経済へ戻った。 | 2. 明から大量の銅銭や生糸が輸入さ
れたことで、国内の貨幣経済や産業
の発展が促された。 | 3. 綿花が大量に輸入されたことで、
日本国内で独自の綿織物産業が初め
て確立された。 | 4. 鉄砲やキリスト教が伝来したこと
で、戦国大名の戦い方や思想に大き
な変化が生じた。 |
|--|---|---|--|
- 問4 1428年に近江の農民から始まった正長の土一揆において、農民たちは奈良県の柳生街道にある岩に「正長元年よりさきは、借主はいない」という趣旨の内容を刻み、自らの要求が通ったことを示しました。このとき、農民たちが酒屋や土倉などの金融業者を襲撃して求めたものは何ですか。
(2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 兵役の免除 | 2. 借金の帳消し | 3. 年貢の減免 | 4. 土地の返還 |
|----------|-----------|----------|----------|
- 問5 「下剋上」の風潮によって、室町時代の地方政治において生じた変化として正しいものはどれですか。
(2018年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 守護代や国人が、実力で守護大名に代わって領国を支配する戦国大名が現れた。 | 2. 白河上皇が位を譲った後も政治を行うことで、摂関家から実権を取り戻した。 | 3. 北条氏が執権として幕府の実権を握り、独自の法律を定めて武士を統制した。 | 4. 幕府が御成敗式目を制定し、裁判の公平性を高めることで農民の不満を解消した。 |
|---|--|--|--|
- 問6 室町時代に足利義満が明（中国）との間で始めた貿易では、「勘合」と呼ばれる割符が使用されました。このような仕組みが導入された背景にある、当時の東アジア情勢として最も適切な説明はどれですか。
(2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. キリスト教の布教を防ぎながら、幕府が海外貿易の利益を独占しようとしたため | 2. 沿岸部で海賊行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別する必要があったため | 3. 平清盛が推進した日宋貿易の形式を継承し、大量の銅銭を効率よく輸入するため | 4. 朱印状を持つ商人にのみ渡航を許可し、東南アジア諸国との取引を管理するため |
|---|--|---|---|
- 問7 1467年に京都で始まり、約11年間にわたって続いた戦乱について、その発生の直接的な背景と、社会に与えた影響の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。
(2021年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 徳川家康と石田三成の対立が背景となり、戦乱の後には幕府による大名への統制が厳しくなった。 | 2. 農村での一揆が全国に広がったことが背景となり、幕府が守護大名の力を借りて農民を支配する体制が強化された。 | 3. 将軍のあとつぎ問題や守護大名の対立が背景となり、実力のある者が上の身分の者に打ち勝つ下剋上の風潮が広がった。 | 4. 海外との貿易利権をめぐる対立が背景となり、将軍の権威が高まって守護大名の力が弱まった。 |
|---|---|---|--|
- 問8 室町幕府の第八代将軍であり、京都の東山に慈照寺（銀閣）を建立したことで知られ、簡素で落ち着いた文化を育んだ人物は誰ですか。
(2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義政 | 2. 足利尊氏 | 3. 足利義満 | 4. 足利義持 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 日本の美術作品の特徴を説明した次の記述のうち、室町時代に雪舟によって確立された「水墨画」の表現に該当するものはどれですか。
(2016年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 江戸時代の町人の風俗や役者の姿を、鮮やかな多色刷りの版画として描いている。 | 2. 貴族の生活の様子を、寝殿造の建物を舞台に華やかな色彩を用いて描いている。 | 3. 険しい山岳や力強い筆致の木々を、墨一色の濃淡によって静寂の中に表現している。 | 4. 城郭の内部を飾るため、金箔を背景に色彩豊かで豪華な障壁画として描いている。 |
|--|---|---|--|
- 問10 室町時代の社会構造の変化において見られた「惣（惣村）」の活動内容として、最も適切な説明はどれですか。
(2018年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 公地公民の原則に基づき、政府から農民へ一定の土地が貸し出され、死後は国に返還された。 | 2. 商工業者が寺社や公家に税を納める代わりに、商品の独占販売権などの特権を得て活動した。 | 3. 農民たちが寄り合いを開いて村の掟を定め、用水の管理や裁判、警察的な役割を自ら担った。 | 4. 幕府や大名が年貢を換金する拠点として、大坂などの都市に倉庫を備えた邸宅を運営した。 |
|---|---|---|--|
- 問11 鎌倉幕府を倒した後に始まった「建武の新政」が崩壊し、足利尊氏と対立したことで京都を離れ、奈良県の吉野において自らの正統性を主張する朝廷を開いた人物は誰か、次の中から選びなさい。
(2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 後醍醐天皇 | 2. 桓武天皇 | 3. 足利義満 | 4. 後鳥羽上皇 |
|----------|---------|---------|----------|
- 問12 日本の歴史における主要な3つの変革である、「蘇氏を打倒して中央集権的な政治を目指した大化の改新」、「天皇家や藤原氏の権力争いに武士が介入するきっかけとなった保元の乱」、「鎌倉幕府滅亡後に後醍醐天皇が公家を重視して行った建武の新政」について、これらが発生した順序として正しいものはどれですか。
(2022年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 保元の乱 → 大化の改新 → 建武の新政 | 2. 大化の改新 → 保元の乱 → 建武の新政 | 3. 大化の改新 → 建武の新政 → 保元の乱 | 4. 建武の新政 → 保元の乱 → 大化の改新 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問13 室町時代に農村で形成された自治組織である「惣」の活動内容や当時の社会背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。
(2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 朝廷や幕府の公認を得て、特権的な販売独占権を持つ商工業者の集団として、市場での自由な取引を制限した。 | 2. 領主が支配を強めるために有力な農民を村役人に任命し、年貢の取り立てや裁判のすべてを幕府の代わりに行わせた。 | 3. 江戸幕府の命令により、キリスト教の禁止や年貢の納入を徹底させるため、近隣の数軒を一つの単位として連帯責任を負わせた。 | 4. 農業生産力の向上を背景に、農民たちが寄り合いを開いて村の掟を定め、水利の管理や入会地の共同利用を自主的に行った。 |
|---|--|---|---|